

科目名	国語 I		英文表記	Japanese I		2010 年 9 月 6 日
教員名：澤井 万七美 技術支援：-						修正
対象学科	学年	必・選	履修・学修	単位数	授業形態	授業期間
全学科	2 年	必修	履修	2	講義	通年
目 標	1. 日本語のさまざまな表現形式を知る。 2. 実社会における「場面に応じた言語表現」を使いこなすことができるようになる。 3. インタビューを通して、他者をよりよく知る心構えと態度を身につける。 4. 時代や地域が異なる人々に対しても、その心情や生き方への想像力と敬いの念を持ち、多様な文化のありかたを受容することができるようになる。 5. 現代社会の諸問題に対して、積極的に目を向けることができるようになる。					
高 専 目 標	1	2	3	4	JABEE プログラム名称	
		○		○	JABEE プログラム教育目標	
授 業 概 要、 方 針、 履 修 上 の 注 意	毎回、授業初めに小テストを実施する。					
評 価 方 法	定期試験 40%、漢字テスト 10%、授業内での小テスト 20%、提出物など平常点 30%。					
教 科 書 ・ 教 材	『新国語総合 改訂版』『学習課題ノート』（教育出版）、『国語便覧』（京都書房）、『④～②級 漢字の学習』（三省堂）、教員作成資料					
参 考 図 書	『ビジネスメールものの言い方文例事典』（シーズ、技術評論社、2005）、『実践アンケート調査入門』（内田治 他、日本経済新聞社、2001）、『コミュニケーション学への招待』（橋元良明編著、大修館書店、1997）。『新編 沖縄の文学』（沖縄県教育文化資料センター、2003）／この他、授業内でも適宜紹介する。					
授 業 計 画						
授 業 項 目	時 間	授 業 内 容				
1. ガイダンス／敬語(1)	2	授業の進め方の説明／敬語表現の基礎				
2. 敬語(2)	2	ビジネスシーンでの敬語・電話対応のマナー				
3. 敬語(3)	2	トラブルへの対応				
4. 敬語(4)	2	表現上のタブー				
5. 手紙(1)	2	手紙の基本的マナーと書式				
6. 手紙(2)	2	場面を想定した文面作成／表現上のタブー				
7. 手紙(3)	2	メールの基本的マナーと書式				
8. インタビュー(1)	2	対面コミュニケーションのレッスン（グループ学習）				
9. インタビュー(2)	2	インタビュー実践				
10. インタビュー(3)	2	インタビューのまとめ方				
11. 論文(1)	2	論文作成の基礎				
12. 論文(2)	2	論文トレーニング①				
13. 論文(3)	2	論文トレーニング②				
14. 論文(4)	2	論文トレーニング③				
15. 前期まとめ	2	前期授業内容のまとめ				
前期期末試験	[1]					
16. 情報論(1)	2	情報の種類／アンケート調査の基礎				
17. 情報論(2)	2	データの読み取り方				
18. 中国の思想と文学(1)	2	中国と日本・琉球の関係				

19. 中国の思想と文学(2)	2	漢詩の読解	
20. 中国の思想と文学(3)	2	中国の思想①	
21. 中国の思想と文学(4)	2	中国の思想②	
22. 古文(1)	2	日本文学史・古文の読解①	
23. 古文(2)	2	古文の読解②	
24. 古文(3)	2	古文の読解③	
25. 古文(4)	2	詩歌の表現	
26. 広告(1)	2	身近な広告にみる様々な表現	
27. 広告(2)	2	広告作成のプロセス	
28. 広告(3)	2	表現上の倫理と関連法規(1)	
29. 広告(4)	2	表現上の倫理と関連法規(2)	
30. 後期まとめ	2	後期授業内容のまとめ	
後期期末試験	[1]		
学習時間合計	60	実時間	50

学修単位における自学自習時間の保証（レポート頻度など）

学習時間は、実時間ではなく単位時間で記入する。（50分＝1、100分＝2）

通年は2ページ、半期は1ページ以内におさめる。